

第 31 回日・韓・中ジュニア交流競技和歌山大会

開催要項(案)

1. 目的

東アジア諸国との青少年スポーツ交流を促進し、相互理解を深めるとともに、各国のジュニア層の競技力向上を図るため、韓国及び中国の競技者を日本に招聘し、競技会を開催する。

2. 開催期日

2023年8月23日(水)～29日(火) 7日間

3. 開催地

日本 和歌山県

4. 主催(予定)

公益財団法人日本スポーツ協会、和歌山県、和歌山県教育委員会、公益社団法人和歌山県体育協会、公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人日本テニス協会、公益財団法人日本バレーボール協会、公益財団法人日本バスケットボール協会、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会、公益財団法人日本ハンドボール協会、公益財団法人日本ソフトテニス連盟、公益財団法人日本卓球協会、公益財団法人日本バドミントン協会、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

5. 共催(予定)

6. 主管(予定)

第 31 回日・韓・中ジュニア交流競技会和歌山大会実行委員会、
(一財)和歌山陸上競技協会、(一社)和歌山県サッカー協会、和歌山県テニス協会、
和歌山県バレーボール協会、(一社)和歌山県バスケットボール協会、
和歌山県ウエイトリフティング協会、和歌山県ハンドボール協会、和歌山県ソフトテニス連盟、
和歌山県卓球協会、和歌山県バドミントン協会、和歌山県ラグビーフットボール協会

7. 後援(予定)

8. 参加国・開催地選手団

日本、韓国、中国、和歌山県

9. 選手団の編成(予定)

日本選手団	247名
韓国選手団	247名
中国選手団	247名
和歌山県選手団	247名
合 計	988名

<選手団編成表>(予定)

競 技	役員/ 指導者	選 手			合 計
		男 子	女 子	小 計	
陸上競技	3	11	11	22	25
サッカー	3		18	18	21
テニス	3	4	4	8	11
バレーボール	5	12	12	24	29
バスケットボール	5	12	12	24	29
ウエイトリフティング	5	8	8	16	21
ハンドボール	5	14	14	28	33
ソフトテニス	3	6	6	12	15
卓球	3	5	5	10	13
バドミントン	3	6	6	12	15
ラグビーフットボール	4	23	—	23	27
本部	8	—	—	—	8
合 計	50	118	77	195	247

10. 実施競技

11競技

陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ラグビーフットボール

11. 出場者

参加者は所属選手団の国籍を有する者とし、競技出場者については18歳以下の者とする。

<日本選手団> 日本・中央競技団体が推薦するチーム・個人とする。

<韓国選手団> 韓国・大韓体育会が推薦するチーム・個人とする。

<中国選手団> 中国・中華全国体育総会が推薦するチーム・個人とする。

<和歌山県選手団> 和歌山県の競技団体が推薦するチーム・個人とする。

12. 日程(予定) ※内容は変更が生じる可能性があります。

8月23日(水) 韓国・中国選手団来日、日本選手団・和歌山県選手団(サッカー・ラグビー)集合
監督・審判会議(サッカー・ラグビー)

8月24日(木) 日本・和歌山県選手団(9競技)集合、競技(サッカー・ラグビー)、練習(9競技)
監督・審判会議、開会式

8月25日(金) 競技・練習

8月26日(土) 競技・練習

8月27日(日) 競技、フレンドシップ交流

8月28日(月) 日本選手団・和歌山県選手団解散、視察研修(韓国・中国選手団)、3カ国代表者会議

8月29日(火) 韓国・中国選手団離日

13. 宿舎(未定)

(1)韓国選手団

(2)中国選手団

(3)日本選手団

(4)和歌山県選手団

14. 競技会場

No.	実施競技	会場市	競技会場
1	陸上競技	和歌山市	紀三井寺公園陸上競技場
2	サッカー	田辺市	田辺スポーツパーク
3	テニス	和歌山市	和歌山市立つつじが丘テニスコート
4	バレーボール	橋本市	和歌山県立橋本体育館
5	バスケットボール	和歌山市	和歌山ビッグウエーブ
6	ウェイトリフティング	和歌山市	和歌山県立体育館
7	ハンドボール	和歌山市	和歌山ビッグホエール
8	ソフトテニス	和歌山市	紀三井寺公園庭球場
9	卓球	紀の川市	紀の川市立紀の川市民体育館
10	バドミントン	岩出市	岩出市立市民総合体育館
11	ラグビーフットボール	上富田町	上富田スポーツセンター

15. 競技方法

(1) 競技規則及び審判員

- ・最新の国際競技連盟規則による。但し、各国間相互の合意をもって変更することができる。
- ・審判員、ジャッジ及び技術役員は全競技日本側で行う。

(2) 各競技の方法・規則(予定)

① 陸上競技

競技は2日間とし、各日全種目1回競技を行う。なお、競技日の間に休養日を挟む。

実施種目（男子12、女子12）

男子：100m、200m、400m、1500m、110mハードル、4×100mリレー

走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、やり投

<ハードルの高さ99.1cm(ジュニアハードル) / 砲丸の重量6kg>

<円盤の重量1.75kg / やりの重量800g>

女子：100m、200m、400m、800m、1500m、100mハードル

4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、やり投

<ハードルの高さ84cm / 砲丸の重量4kg>

<円盤の重量1kg / やりの重量600g>

※選手は2種目にエントリーできる。2種目以外にリレーにエントリーできる。

※各種目とも1回で行う。但し、走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・やり投は6回の試技を行う。

② サッカー

- ・総当たりリーグ戦
- ・前・後半45分 延長戦なし

③ テニス

- ・総当たり戦
- ・男子種目 女子種目のみ
- ・5試合(単-単-単-単-複) 1試合3セットマッチ
勝敗に関わらず5試合行うものとする。

④ バレーボール

- ・総当たり戦
- ・5セットマッチ(6人制)
- ・ラリーポイント制 得点25点(第5セットについては15点)

⑤ バスケットボール

- ・総当たり戦
- ・4ピリオド制、各ピリオド10分 延長戦なし

⑥ ウェイトリフティング

競技は、各階級1回のみ行う。

- ・男子 8階級(55kg, 61kg, 67kg, 73kg, 81kg, 89kg, 96kg, +96kg)
- ・女子 8階級(45kg, 49kg, 55kg, 59kg, 64kg, 71kg, 76kg, +76kg)

- ・各国チームは各階級において、1名の選手を登録するものとする。
- ・スナッチ、クリーン&ジャークの2種目合計
- ⑦ ハンドボール
 - ・総当たり戦
 - ・前・後半30分 延長戦なし
- ⑧ ソフトテニス
 - ・総当たり戦
 - ・男子種目 女子種目のみ
 - ・5試合(複―単―複―単―複) 3勝制 1試合は単7ゲームマッチ・複9ゲームマッチ
勝敗に関わらず5試合行うものとする。
- ⑨ 卓球
 - ・総当たり戦
 - ・男子種目 女子種目のみ
 - ・5試合(単―単―複―単―単) 1試合は11ポイント 3ゲーム先取
勝敗に関わらず5試合行うものとする。
- ⑩ バドミントン
 - ・総当たり戦
 - ・男子種目 女子種目のみ
 - ・5試合(単―複―単―複―単) ラリーポイント方式(21点 2ゲーム先取)
ただし、勝敗に関わらず5試合行うものとする。
- ⑪ ラグビーフットボール
 - ・総当たり戦
 - ・前・後半30分 延長戦なし

16. その他

- (1) 参加者は、国際交流の意義を理解し、開催国の生活文化を理解するとともに、友愛の念を持って他の参加者と積極的に交流することが求められる。
- (2) 参加者は、本競技会参加に際し、フェアプレーの行動・精神を実践すること。国際的なマナーを守り、競技会においては規則を遵守しなければならない。特に、試合中の審判の裁定は絶対のこととし、これを不服として不満の態度を示すこと、抗議をすることがあってはならない。
- (3) 選手は大会期間中、選手団ユニフォームを着用すること。
- (4) 下記3競技の練習球等は開催国で準備・提供し、その他の8競技は各国で持参すること。
 - ①バレーボール(男女各チームにボール12球・ボール籠)、②ソフトテニス競技(試合球・練習球男女チーム合計20ダース)、③テニス競技(練習球として男女チーム合計10ダース)。
- (5) 韓国・中国の選手団は各国で、傷害保険へ加入すること。